

令和4年3月 発地別延べ宿泊者数割合

【国内】

(単位：人泊、%)

	県内	福岡県	その他九州	四国	中国	近畿	中部	関東	東北・北海道	国内計
令和4年3月(速速報値)	50,543	91,974	38,461	5,618	19,825	31,002	15,055	53,871	4,562	310,911
令和3年3月(速速報値)	39,303	78,331	34,280	4,223	13,262	20,596	9,524	30,261	2,254	232,034
前年同月比	128.6	117.4	112.2	133.0	149.5	150.5	158.1	178.0	202.4	134.0
令和2年3月(速報値)	26,849	81,416	35,512	4,546	17,350	25,400	10,274	31,705	2,936	235,988
令和2年同月比	188.2	113.0	108.3	123.6	114.3	122.1	146.5	169.9	155.4	131.7
令和元年3月(確報値)	57,067	97,642	59,696	11,203	32,394	39,518	20,078	54,386	7,830	379,814
令和元年同月比	88.6	94.2	64.4	50.1	61.2	78.5	75.0	99.1	58.3	81.9
令和4年2月(速速報値)	25,789	50,834	19,691	3,051	9,264	15,572	7,971	32,236	2,952	167,360
前月比	196.0	180.9	195.3	184.1	214.0	199.1	188.9	167.1	154.5	185.8

【国外】

	韓国	中国	香港	台湾	タイ	その他アジア	欧米豪その他	外国小計
令和4年3月(速速報値)	*	*	*	*	*	*	*	1,096
令和3年3月(速速報値)	192	38	0	0	5	1,128	197	1,560
前年同月比	*	*	*	*	*	*	*	70.3
令和2年3月(速報値)	212	92	495	31	13	1,499	728	3,070
令和2年同月比	*	*	*	*	*	*	*	35.7
令和元年3月(確報値)	52,432	7,186	5,918	14,202	2,412	2,722	2,387	87,259
令和元年同月比	*	*	*	*	*	*	*	1.3
令和4年2月(速速報値)	*	*	*	*	*	*	*	1,685
前月比	*	*	*	*	*	*	*	65.0

* 令和4年発地別宿泊者数(速速報値)は、サンプル数が過小のため表示しない

【全体】

	合計
令和4年3月(速速報値)	312,007
令和3年3月(速速報値)	233,594
前年同月比	133.6
令和2年3月(速報値)	239,058
令和2年同月比	130.5
令和元年3月(確報値)	467,073
令和元年同月比	66.8
令和4年2月	169,045
前月比	184.6

①R3年1月調査から、宿泊客数調査の対象を従業員数10人以上の全施設(186施設)に変更しました。
この変更に伴い、R2年、R元年の公表値についても同規模施設数の推計値に再計算しています。
※発地別延べ宿泊者数は、速報の公表時に大きく変更されることがあります。

出典：大分県観光統計調査

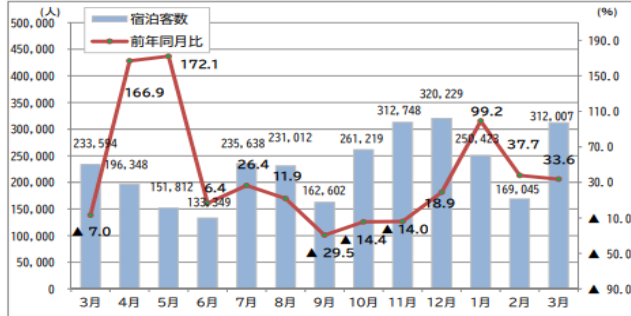
<傾向・分析>

- ・国内の延べ宿泊者数は前年同月比133.6%、前月比185.8%。大分県では2月下旬にまん延防止等重点措置が解除となり、新しいおいた旅割も再開されたことなどから県内客は前年同月比、前月比共に増加となった。全国的にも感染者数が減少傾向となり各地でまん延防止等重点措置が解除されたことなどから、いずれの発地においても前年同月比、前月比、また、コロナの影響が出始めた令和2年同月比も増加となっている。コロナ禍前の令和元年同月比は81.9%と全体的には未だ戻っていないが、福岡県は94.2%、関東は99.1%と発地域によってはコロナ前の水準に近づいている。
- ・国外の延べ宿泊者数は、前年同月比70.3%、前月比65.0%、コロナの影響が出始めた令和2年同月比は35.7%、コロナ禍前の令和元年同月比は1.3%。3月1日より水際制限が緩和されたが、観光目的の入国は未だ制限が続いている為、依然として厳しい状態が続いている。
- ・全体の延べ宿泊者数は、前月比184.6%、前年同月比133.6%。令和2年同月比130.5%。コロナ禍前の令和元年同月比は66.8%となった。

令和4年3月の宿泊客等の動向
(令和3年3月～12月速速報、令和4年1月～3月速速報)

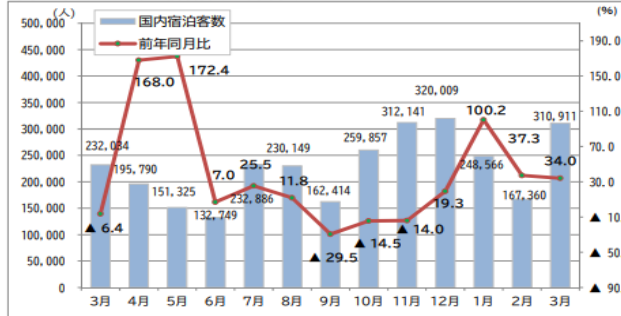
(1) 宿泊客の動向

令和4年3月の宿泊客数の前年同月比は、速速報で+33.6%となる見込み。



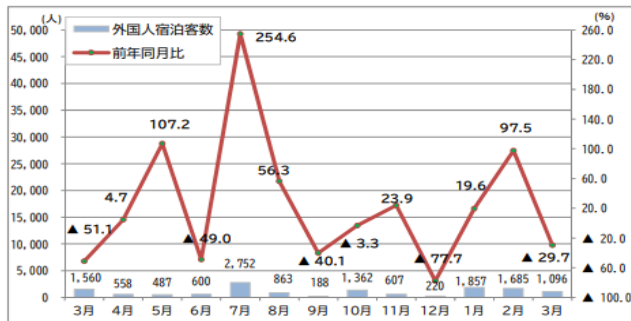
(1)-①日本人宿泊客の動向

令和4年3月の日本人宿泊客数の前年同月比は、速速報で+34.0%となる見込み。



(1)-②外国人宿泊客の動向

令和4年3月の外国人宿泊客数の前年同月比は、速速報で-29.7%となる見込み。

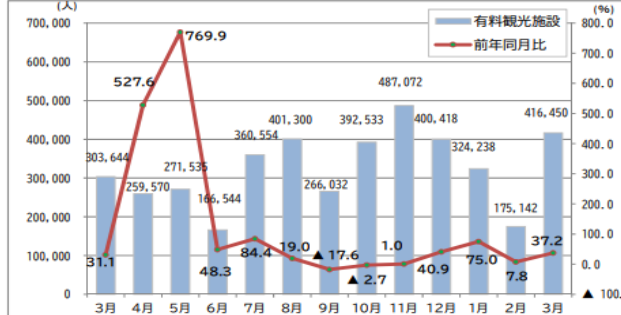


(2) 有料観光施設(入場客)の動向

令和4年3月の有料観光施設(入場客)の前年同月比は、速速報で+37.2%となる見込み。

(調査対象施設29施設)

前年比 屋内施設+22.5% 屋外施設+44.3%



※観光施設の前年比は、休業業・未提出施設を除いて算出しているため、過去に公表している値と比較すると一致しない場合があります。

出典：大分県観光統計調査

<傾向・分析>

- ・日本人宿泊客は昨年3月、一部地域で発令されていた緊急事態宣言の全面解除や、県民向け「新しいおおいた旅割」等が開始した影響で増加。しかし、4月に入り再び全国で感染者数が増加、全国各地で「まん延防止等重点措置」の適用や緊急事態宣言が発令され、減少に転じる。6月末に9都道府県にて緊急事態宣言が解除されたのち、7月には増加に転じるものの、7月末からの感染者数の増加や緊急事態宣言地域の拡大などにより8月・9月の宿泊客数は減少傾向が続いた。9月末に全国で緊急事態宣言が解除となり、「新しいおおいた旅割」も再開となったことから10月・11月は増加。12月6日からは「新しいおおいた旅割」の対象に近隣県も加わったことなどから更に増加したが、オミクロン株の感染拡大の影響により県内でもまん延防止等重点措置が適用となった1月・2月は2カ月連続で減少となった。3月に入り全国的に感染者数が減少傾向となり、全国各地でまん延防止等重点措置が解除されたことなどから、3月の日本人宿泊客は3カ月ぶりに前年を上回り、第6波の前と同水準まで持ち直した。
- ・有料観光施設の動向については前年同月比137.2%。前月比も倍以上の入場者数となっている。
- ・外国人宿泊客は、未だ観光目的での入国が制限されていることから、依然として低水準が続いている。
- ・全体においては、未だインバウンドの回復が見られない中、国内宿泊者の動きがそのまま反映されたかたち。国内宿泊者の動きは、新型コロナウイルス感染症の拡大状況や各種規制措置等の有無、トラベルキャンペーン等の実施状況により変動しているとみられる。